

平成26年 6月26日

各 位

会社名 サイボウズ株式会社
本店所在地 東京都文京区後楽一丁目4番14号
代表者の役職氏名 代表取締役社長 西端 慶久
(コード番号4776 東証第一部)
問い合わせ先 IR担当
電話番号 03-5805-9035 (代表)

連結業績予想の修正、個別業績予想、および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年2月13日に公表した平成26年12月期の通期の連結業績予想（以下「前回発表予想」）および、平成26年3月26日に公表した平成26年12月期の1株当たり配当予想金額について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、個別業績予想につきましては開示を省略しておりましたが、前期実績値との対比においてその差異が開示基準に達する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成26年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年2月13日公表)	百万円 5,400	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円 銭 0
今回修正予想(B)	5,800	▲200	▲200	▲200	▲3.79
増減額(B-A)	400	▲200	▲200	▲200	▲3.79
増減率(%)	7.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成25年12月期)	5,197	288	264	188	4.00

(2) 業績予想修正の理由

【連結】

売上高につきましては、クラウド関連事業の売上が予想より好調であることに加え、パッケージ版の売上についても、特に継続売上が予想を上回って推移したことから、前回発表予想に比べ400百万円増の5,800百万円となる見込みです。一方、利益項目につきましては、前回発表予想から200百万円減の営業損失200百万円、経常損失200百万円、当期純損失200百万円となる見通しです。

当期のクラウド関連事業の売上は、約16億円（前期比82.3%増）を見込んでおり、今後事業の中核となると考えております。このクラウド関連事業を長期で成長させるため、今期は、より一層積極的な設備投資や広告宣伝投資を実施することといたしました。

2. 個別業績予想

(1) 平成26年12月期 個別業績予想

(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 (A)	百万円 4,930	百万円 119	百万円 129	百万円 59	円 銭 1.25
今 回 発 表 予 想 (B)	5,500	▲330	▲330	▲330	▲6.25
増 減 額 (B-A)	569	▲449	▲459	▲389	—
増 減 率 (%)	11.5%	▲377.2%	▲354.4%	▲656.6%	—

(2) 前事業年度実績との差異が生じた理由

前期実績に比し、売上は増加する見通しであるものの、連結の理由と同様、より一層積極的な設備投資や広告宣伝投資を実施することから、営業損失330百万円、経常損失330百万円、当期純損失330百万円となる見通しです。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の内容

1株当たり配当金			
基 準 日	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (平成26年3月26日公表)	0円00銭	未定	未定
今 回 修 正 予 想	0円00銭	3円65銭	3円65銭
当 期 実 績	-	-	-
(ご参考) 前年同期実績 (平成25年12月期)	0円00銭	206円00銭	206円00銭

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っているため、前期実績は分割前の1株当たりの配当金となります。今回修正予想の配当金を分割前の1株当たりで算定し直すと、1株当たり配当金は365円00銭となります。

(2) 配当予想修正の理由

当社は持続的な成長を目的としており、財務体質の一層の強化、設備投資や研究開発などの長期投資のための内部留保を考慮したうえで、業績動向等を勘案し、株主の皆様にも長期で保有いただけるような利益還元策の実施を基本方針としております。

この基本方針のもと、単年度利益をベースとした連結当期純利益の50%を配当性向としておりましたが、クラウド関連事業への移行を中心とした事業構造の変化により、一時的に利益水準が低下することとなります。よって投資フェーズである今年度につきましては、単年度の収益ではなく、クラウド関連事業の成長に合わせた利益還元を実施することが適切であると判断し、クラウド関連事業の売上総額の10%を配当額とすることといたします。

但し、平成27年3月開催予定の第18回定時株主総会におきまして、承認可決されることを条件といたします。

(※注) 業績予想、配当予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以上